

安保16日に地方公聴会

参院特別委 採決日程に影響も

安全保障関連法案に関する参院特別委員会は十一日、地方公聴会を十六日午後、神奈川県で開催することを全会一致で議決した。横浜市で開く見通し。与党は十六日に特別委で法案を採決する方針だが、日程がずれ込む可能性があらう。

決議案や(安倍晋三首相の)問責決議案の提出を含む」と記者団に述べた。

一方、修正案を提出している次世代、元氣、改革の野党三党は、自民、公明両党と国会内で協議した。与

党側は法案を修正しない前提で、三党の要求に付帯決議などで対応する案を提示した。中東・ホルムズ海峡で戦時の機雷掃海を行うために自衛隊を派遣する場合は、国会の事前承認を求め

るとした。三党側は対応を検討し、十四日に与党側に回答する。

対IS軍事作戦 首相が参加否定

安倍晋三首相は十一日の

安全保障関連法案に関する参院特別委員会で、過激派組織「イスラム国」(IS)に対する有志国連合の軍事作戦について「政策判断として参加する考えはない。法案成立後も変わらない

い」と述べた。シリア難民への食糧・医療の提供など人道支援に引き続き取り組み考えを示した。

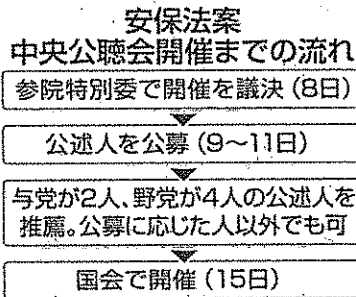
紛争国から退避する人を乗せた米艦を集団的自衛権に基づき防護する事例に関して、邦人の乗船がなくても可能だと重ねて説明した。その上で「日本人がゼロなら守らないとなれば、日米共同の退避計画は成り立たない」と米艦防護の必要性を訴えた。

9/12 福

特別委の議決後、自民党の谷垣禎一幹事長、佐藤勉国対委員長、吉田博美参院国対委員長は国会内で採決日程を協議。法案を十八日までに参院本会議で成立させる方針を確認した。

これに対し、民主、維新、共産、社民、生活、元氣の野党六党は国会内で党首会談を開き、法案の国会成立阻止に向け、あらゆる手段で対応する方針で一致した。民主党の岡田克也代表は会談後、成立を阻止する手段には「内閣不信任

公述人応募95人 全員「反対」



参院特別委員会が十五日に開く安全保障関連法案の中央公聴会で意見を表明する「公述人」の希望者が九十五人に上り、全員が法案に反対の立場を示した。特別委の民主党理事が明らかにした。

中央公聴会 過去10年で最多

参院事務局によると、過去十年の公述人応募で最も多かったのは十七人。今回は五倍以上の応募数となり、安保法案に対する関心の高さがうかがわれる。安保法案に関する衆院特別委が七月に開いた中央公聴会の応募者は十五人で、全員が反対の立場だった。

特別委は、中央公聴会で意見を述べる希望者を九月十一日、官報やホームページで募集。希望者は安保法案への賛否や意見表明した理由を明示する。公述人は、各党が応募者

の中から選ぶほか、有識者らに直接依頼することができ。与党が二人、野党が四人の公述人を推薦すると合意。当日は計六人が意見を述べ、与野党委員との質疑を行う。一般に公述人への応募は少なく、野党は有識者に依頼するケースが多い。

参院特別委の福山哲郎理事(民主党)は「短期間の公募だったのに応募数が多く、全員が反対だったというところが国民の法案に対する明らかな姿勢を表している」と記者団に説明。「今回は応募者から公述人を選

びたい」と党の方針を明らかにした。

これに対し、与党は応募者ではなく、法案に賛成する有識者らから選ぶことになる。

中央公聴会は、国会法に定められ、国民の関心が高い法案について有識者らの意見を直接聞く会合。国会の慣例で法案採決の前提とみなされているが、採決との関連を規定した法律や規則はない。年度ごとの当初予算案の場合は必ず開かなければならないが、他の法案では義務ではない。